

令和8年8月31日

施 設 名	四国カルスト県立自然公園公園施設	所 管 課 名	林業振興・環境部自然共生課
-------	------------------	---------	---------------

1 施設の概要

指定管理者名	一般財団法人天狗荘	指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日
施設所在地	高岡郡津野町芳生野アザミヨ		
事業内容	1. 公園施設における行為及び利用の許可等、行為及び利用の許可の取消し等その他許可に関すること(条例第5条、第8条、第11条) 2. 利用料金の收受、免除、還付その他の利用料金の徴収に関する業務(条例第13条、第15条、第16条) 3. 施設、設備等の維持管理及び補修に関すること 4. 公園施設の設置目的(※)を達成するための活用事業の企画及び運営に関すること ※四国カルスト県立自然公園の利用の増進を図ることにより、県民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することとし、併せて地域と連携して自然公園における交流を促進することにより、地域振興及び観光振興に貢献する。(条例第1条)		
施設内容	<主要建物等> ビジターセンター、野外ステージ、屋外トイレ <主な施設・設備> キャンプ場キャビン・テングロー、炊事棟、駐車場 <開園時間> ビジターセンター (4月～11月)午前9時～午後5時 (12月～3月)午前9時30分～午後4時 野外ステージ 午前9時～午後5時 キャンプ場 チェックイン午後3時、チェックアウト午前10時 <休園日> 12月29日～1月3日 ビジターセンター及び野外ステージ 毎週月曜日 キャンプ場 毎週水曜日 <主な料金> ビジターセンターレクチャールーム 880円/時間 野外ステージ 午前8,250円、午後13,750円、時間外2,750円/時間 キャンプ場 キャビン1室 13,200円から26,400円/日 テングロー1区画 1,650円から4,400円/日 炊事棟1区画 1,100円/回		
職員体制	星ふるヴィレッジTENGUとの兼務職員含む28名		

2 収支の状況

単位:千円

		令和6年度(決算)	令和7年度(決算)	令和8年度(予算)
収入	県支出金	5,044	5,264	6,348
	利用料収入等	2,485	2,767	3,571
	収入計 (a)	7,529	8,031	9,919
支出	事業費	90	90	640
	管理運営費	2,555	2,830	3,459
	人件費	5,656	5,631	5,820
	支出計 (b)	8,301	8,551	9,919
収支差額(a)-(b)		△ 772	△ 520	0

3 利用状況

	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	65,229	63,161	60,000
②利用者意見等の反映	・良かった意見として、施設がきれい、景色がよい、展示が分かりやすい、対応が親切、ソフトクリームがおいしかった、眺望の良い場所に見晴台等が設けられていて気持ちよかった等の意見があった。 ・指摘や要望があった点としては、カフェのフードメニューを増やしてほしいとの意見があった。		
③その他特記事項	特になし		

4 令和7年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	・ キャンプ場は、ホテル運営のノウハウを生かした管理・運営ができています。 ・ カルストテラス等施設については、不具合などを発見した際の、迅速な対応ができています。また、事業計画書に基づいた適正な管理ができています。
②利用者サービスの維持向上	・ イベント開催について、「つのフェス」の開催をはじめ、山野草観察やコウモリ調査、昆虫観察会などを実施し、幅広い年代の方々が四国カルストの豊かな自然に親しむ取組ができています。また、地域の観光振興に貢献できています。 ・ キャンプ場の利用促進のため、HPの改修を行っており、周知やさらなる利用促進に努めてほしい。
③利用実績	・ カルストテラスの入館者数は目標数をわずかに上回り目標を達成できた。 目標:62,000人 実績:63,161人 達成率:約102% ・ キャンプ場等の利用は要求水準は満たしているが、前年と比較すると利用率はあまり伸びていない。 令和6年度:利用者総数709人、許可件数214件、利用料総額2,485,340円 令和7年度:利用者総数636人、許可件数225件、利用料総額2,767,710円 前年比:利用者総数89.7%、許可件数105.1%、利用料総額111.4%
④収支の状況	・適正に処理されている。
総 合 評 価 B	・ ノウハウを生かして、おおむね仕様書のとりの管理運営が適正に行われている。 ・ 「つのフェス」をはじめ、自然学習などのイベントを開催し、地域振興や自然体験の機会をつくっている。参加者が少ないイベントがあるため広報に工夫が必要。 ・ 要求水準を満たした業務を実施できているが、キャンプ場の利者をさらに増やすための取組が必要である。 ・ アンケートにより聴取した利用者の要望に対する対応策の検討が必要。

- 【評価の目安】
- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの